

◀新「朝波小学校」開校の様子



新「朝波小学校」開校

4月8日、「朝波小学校」と「富山小学校」の二校が統合した新「朝波小学校」の開校式が行われました。

全児童118名で新たな歴史を刻み始めました。

新しく制定された校歌の歌詞には「波根と朝山 富山の 古い歴史を 受け継いだ」とあり、子どもたちは、それぞれの地域と学校の伝統を引き継ぎながら、多くの仲間の中で一人ひとりの特性を認めつつ、切磋琢磨し、成長してくれるものと思います。

「富山小学校」閉校式

3月17日、4月より新「朝波小学校」への統合により閉校となる富山小学校の閉校式が同校の体育館で行われ、138年に及ぶ歴史に幕を閉じました。

富山小学校の歴史は、明治8年に山中小学校が設立されたことに始まります。

その後教育制度の変更や市町村合併による名称変更が行われ、昭和29年大田市立富山小学校となりました。



▶富山小学校、旧校舎

「池田中学校」閉校式

池田中学校の閉校式がまだ肌寒い3月17日に池田小中学校体育館で行われ、66年に及ぶ歴史に幕を閉じました。

池田中学校は昭和22年三瓶中学校池田分教場として開設されました。その後昭和29年に市町村合併により大田市立池田中学校となり、「自主・敬愛・剛健」の校訓のもと、恵まれた自然環境を生かした教育活動により開校以来多くの優れた人材を輩出してきました。しかし、近年は生徒数が減少し、第一中学校へ統合することになりました。

閉校式の後に地元実行委員会主催による「池田中学校お別れ会」が開催されました。池田中学校最後の卒業生3人が中学校の歴史を発表、練習を続けてきた箏の演奏を行ったほか、閉校にあたり自分たちの気持ちと地域の気持ちを歌にした

閉校式の後には地元実行委員会主催による「ありがとう富山小学校」が開催され富山小学校で20年来続く田植えばやしなどが披露され、児童全員が一生懸命に舞い、参加者からは大きな拍手が送られました。



▶閉校記念行事で田植えばやしを披露



▶池田中学校、旧校舎

「あたたかな場所」を披露し、参加者はそれぞれに聴き入っていました。池田地区の子どもたちは、第一中学校へ登校することになりますが、新しくできる多くの仲間とこれまでに以上に勉学に取組み、選択肢の広がる多様な部活動を通して知徳体ともに充実した中学校生活を送ってくれるものと思います。